

●講演会司会者用：講師プロフィール

\*以下は、主催団体からのご要望により作成した一例ですので、ご自由にアレンジしていただいてOKです。

(ここから)

作家 兼 志と理念の経営アドバイザー 兼 APRA (エープラ) 議長 としてご活躍の、角田 識之 (すみだのりゆき) 先生のご紹介をさせていただきます。通常、臥龍 (がりゅう) さんと呼ばれていますので、ここでも臥龍さんと呼ばさせていただきます。

臥龍さんは、1956年に「坂の上の雲」の舞台となった愛媛県・松山市にお生まれになり、23歳の時に「竜馬がゆく」を読み感銘。坂本龍馬が亡くなった33歳で、使命感を「世界の海援隊」とした企業を設立することを「志」とされます。その後、大手コンサルティング会社で経営コンサルタントの経験を積み、1989年33歳の時に(株)ハイネットを設立。大構造改革期と言う環境変化の中、経営の根幹を成す志と理念の刷新、お客様感動と従業員感動を共に育む「感動経営」の導入により、数々の「第二創業の実現」を指導され、大好評を博されてきました。設立から20年の節目となる2010年に、社業を、志と理念の確立アドバイザーとしての(株)角田識之事務所と、感動経営をワンストップで支援するための(株)感動マーケティングに分離され、両社の代表として、より一層「第二創業の伝説企業」育成に邁進されています。

また35歳のときに講演で訪れた台湾で、資本主義にも「拝金主義」サイドと「人本主義」サイドがあることに気付き、修正資本主義としての「人本主義」の確立を提唱され始めます。夢は、“人の幸福を第一義とする、日本一、アジア誇れる経済団体”としての「APRA (エープラ)」を2020年までに確立し、次世代に遺すことだそうです。その夢実現のため、「和人・和僑 (わきょう)」と「華人・華僑」による「APRA大家族」の絆を深めると共に、“経営とは人を雇用し、幸せな集団を構築することへの挑戦を止めないこと”という「人本主義」のロマンに共鳴いただける5000人以上の同志経営者の結集を呼び掛け、日本全国そしてアジア太平洋各国を東奔西走されています。別名、「感動の伝道師」。

著書には、感動経営の基本編としての「生涯顧客が生まれる101のマジック」や実践編としての「儲かる会社経営2:8 (ニハチ) の新ルール」、経営者の人生が進化する気付きとなる「覚悟～二代目社長が本気のスイッチを入れるとき～」などがあります。また経営者向けの日刊無料メルマガ「社長のビタミン・一日一語」の読者は一万名を超えています。

本日は、「〇〇〇〇」と題し、混迷の時代に生きる勇気と知恵を伝授いただきます。では、皆さま、臥龍先生を拍手でお迎えください。

(ここまで)